

# 泉南走ろう会

連絡先 泉南スポーツ社  
0724-83-4653

天神祭イブニングに参加して(雑記)

会長 遠健三

雨々降れくもんと降れ、七月二十三日戻り梅雨とかで朝から雨だ。今日のレースはどういふ事になるのかなあ。私は雨はかまない。全天候型だ。それにしても準備に雨は困るなあと思ってる。午後三時細井さんより電話あり「今日は土曜日であるが、まだ仕事です。今日の大会受付は五時半までですが、午後六時頃受付に行きますのでよろしく」と。彼はやるな、こんな雨だのに、参加するとはと、私は思った。受付をします。細井さんはまだ来ないもう六時十分だ。とうとう来なかった。又、彼は乗換した前にも、そういうことがあった。今回も仕事上ををえないのだろうか。走った後のスイカであるが、今回はスイカが食べ放題とのことであるので、先にスイカを頂戴する。そして、横を見る。と細井さんがある。「五時四十分頃到着した」とのこと。「もう来ないと思っていた。君は乗換の常習犯だからなあ」というと、「そんなことはない。二回程である」とむきにもならずやり返す。

そこは彼の良いところである。多勢の人が集まった。雨はたいしたことはない。三キロの部、五キロの部よりレースが始まった。何処か主催が、大したものだ。こんな大がかりな大会、熱気あふれる大会となった。さて、なんぼ大坂城公園内周回コースとはいえ、アスファルトあり、地道あり、照明も暗い所あり、ヤ、走りにくいでもお祭だ。かみシラに走ることはない。レースが終った。十キロ四十八分三十九秒であった。細井さんは四十八分、トとの事。そこで私は細井さんに「私は本当はもと早い、エールした時タイムカード機が故障してカードが貰えなかった。そこで私は隣のカード機のを貰った。その間、一分三十秒程、ロスした」といって細井さんは「ハハハ」と笑い出す。彼はどんな事がない、私の早いなど一言もいわない。彼は五派である。私達達て仕事にあまりトレーニングをする時間がないのに、又この夜道に十キロは走るとは、私達よりまだまだ遅い人は近々幾等でもおる。その時私達はスイカにバクつく。横で女の子は「スイカの切り方あんなことする」といっている。そのはず、一つのスイカを四つ切りにして配っている。スイカが成る程食べ放題である。天神祭イブニングが終った。

細井さんに「あの建物はなんだ」「あれは「オータニ」とのこと、それではあの建物の明りのついてる一番高い処に行くとビルで乾杯しよう」とオータニのフロントに行く。時間、午後七時まで営業してゐるが駄目、どの事「何故駄目かと聞くと、いいねくそう

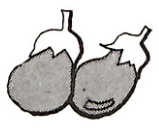
に、コジャケットとかネクタイをしておらないと駄目、またお越れ下さいと丁寧な言葉を細井さんと二人して笑う。ワハハ、それならば難波にてビールで乾杯する、楽しい天神祭イブニングでした。

今で42・100mに統一されたマラソンの歴史、初回は1896年、一兵士が国民に勝利を伝えるため、約40分、第一回マラソン大会(一)を走り抜いた、という故事に由来するこの種目が、今や世界中で盛んなスポーツで、一戦に決まらず、大会はワン・ラウンドから複数ラウンドまで定まらされている。

**マラソンの距離**

五輪種目  
42・195m、5km、10km、半程、フルマラソン

現代オリンピックの都市国家採用されたらしい。



お知らせ

一、例会日 八月二十一日 午前九時 新家公民館

一、コース 暑い時ですのでゆとりと無理をしないようにして湯の池まで走る予定

一、案件 十月六日あいの土山マラソン大会参加について、ブルまたはハイフマラソン。